

◆令和8年6月1日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 間もなく令和8年第2回市議会定例会が始まるが、準備をよろしくお願ひしたい。
- 本日の議案の令和7年度一般会計決算見込について、実質収支は黒字であるが、中身を見ると大変厳しい状況となっている。
- 新市街地や工業団地の取組は進んでおり、関わる部署におかれては本市のまちづくりの取組としてご協力をお願いしたい。

2. 議事

(1) 計画的な年次有給休暇及び夏季休暇の取得について【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 年次有給休暇の計画的取得については、厚労省では働き方・休み方を変える第一歩として「プラスワン休暇」を推奨しており、本市においても、恵庭市特定事業主行動計画を作成し、年次有給休暇取得日数の数値目標を年12日以上と掲げているところ。
- 各部署におかれては計画的に年次有給休暇・夏季休暇を取得できるよう、業務調整をお願いしたい。
- なお、会計年度任用職員も夏季休暇が取得可能であり、今一度、各所属にて周知及び計画的な取得をお願いしたい。

(2) 令和7年度恵庭市一般会計決算について【総務部】

◎資料に基づき、総務部長及び財務室財政課長説明

- 歳入では、市税及び地方交付税等が、予算を上回る決算となった。歳出では、予算執行率は96.1パーセントであり、歳入・歳出の収支差額は11億8,000万円で、財政調整基金の支消の取り止めや、まちづくり推進基金積立などの決算調整を行う。
- 出納整理期間が終了しておらず、金額は若干変動するが、令和7年度の一般会計決算見込みの概要を下記のとおり報告する。

・歳入総額	426億7,758万円（前年度比31億6,165万6千円増）
・歳出総額	414億9,009万7千円（前年度比34億9,472万2千円増）
・歳入歳出差引額	11億8,748万3千円（形式収支）
・実質収支額	11億8,748万3千円（前年度比3億3,196万4千円減）
・繰越金	9億8,465万6千円
・財政調整基金積立金	2億282万7千円
- 実質収支の主な要因は、歳入では、予算に対し、市税や地方交付税の増や、1月から

3月までの「ふるさと納税」寄附金分、歳出では、人件費や負担金、特別会計繰出金の減が主な要因となっている。

○決算調整については、財政状況を踏まえ、起債の取り止めや繰上償還は行わず、現年度の財政調整基金の支消取り止めや、財政調整基金及び特定目的基金（まちづくり推進基金）への積立を行う。

○繰越金の内訳は下記のとおりである。

- | | |
|------------------|-------------|
| ・当初予算・補正予算関係等繰越金 | 2億7,966万3千円 |
| ・まちづくり推進基金積立分 | 4億3,362万5千円 |
| ・ふるさと納税基金積立分 | 2億7,136万8千円 |

○地方財政法に基づく決算剰余金の基金積立額は、5億9,374万2千円以上となる。これに対し、財政調整基金の編入額は、2億282万7千円で、特定目的への基金積立額は7億499万3千円となり、合計9億782万円となることから、法の規定を充足していることとなる。

（市長）

単年度の実質収支はマイナスで、歳出の伸びが歳入増を上回る結果となった。近年は、ふるさと納税も順調で新規政策は財源を基金に依存することもあったが、いま一度、財源確保に努めなければならないと感じており、各部各課での取組をお願いしたい。

（副市長）

事業の見直しについて進めていただきたい。

（3）佐川急便株式会社と包括連携協定（素案）について【企画振興部】

◎資料に基づき、企画振興部長説明

○佐川急便株式会社から、同社の物流ネットワーク等の強みを生かした包括連携協定締結の提案があった。

○協定の締結に向けて、佐川急便株式会社からの提案に対する本市の考えや提案以外に本市から提案したい事業などについて調査を行う。

（市長）

佐川急便株式会社の強みが生かせるような取組となれば良い。市民活動を行っている団体にも呼び掛けてみてはどうか。

（副市長）

資料以外にも、それぞれ案を出して何かあれば企画振興部に提案いただきたい。

(4)「地域共生社会の実現」と「重層的支援体制の整備」に向けた職員研修会の開催について【保健福祉部】

◎資料に基づき、保健福祉部長説明

- 標記の職員研修会を開催するため、全庁的な取組が不可欠であり、職員ひとり一人に認識していただきたい。
- 今年度は管理職も対象とすることから、積極的な参加をお願いしたい。

(副市長)

昨年に引き続きということで、まだ参加されていない職員については参加をお願いしたい。